

屋内消火栓設備・スプリンクラー設備 } の概要表  
 水噴霧消火設備・泡消火設備・屋外消火栓設備

水 源	専用 ・ 兼用	種 別	地下ピット ・ 床置き ・ その他 ( )			有効水量(当該設備用)					
加 圧 送 水 装 置	ポンプ方式	ポンプ、電動機	専用 ・ 兼用	口径 × 吐出量 × 全揚程 × 出力							
			電圧	V	(φ) × (ℓ/min) × (m) × (Kw)						
		呼水装置	有 ・ 無	有効容量	ℓ	減水警報の表示場所					
		起動用圧力タンク	有 ・ 無	容 量	ℓ	ポンプ設置場所					
	高架水槽方式	有効落差	m	圧力タンク方式	加圧圧力	MPa	内容積	m <sup>3</sup>			
屋内消火栓	1号	個	2号	個	型式番号	(鑑栓第 号)	合 計	個			
屋外消火栓		個	補助散水栓		個	型式番号	(鑑栓第 号)	表示灯	専用 ・ 兼用		
スプリンクラーヘッド	閉鎖型 (温度 °C	個	型式番号	ス第 号)	(温度 °C	個	型式番号	ス第 号)			
噴霧ヘッド	標準放射量	ℓ/min	個	標準放射圧力	MPa	個	ホース	長さ	m	本数	本
泡 放 出 口	フォームヘッド ・ フォームウォータースプリンクラーヘッド ・ 高発泡用泡放出口 ・ 泡ノズル ・ その他 ( )										
起動装置	ポンプ起動方式	自火報発信機 ・ 専用スイッチ ・ 起動用水圧開閉装置 ・ 流水検知装置 ・ その他 ( )									
	起動感知方式	スプリンクラーヘッド ・ 感知器 ・ 手動式開放弁 ・ その他 ( )									
放水(出・射)区域	区域数	最大放水(出・射)面積	m <sup>2</sup>	放水(出・射)量	ℓ/min	最大放出体積	m <sup>3</sup>				
	区域	最小放水(出・射)面積	m <sup>2</sup>	放水(出・射)量	ℓ/min	最小放出体積	m <sup>3</sup>				
スプリンクラー設備の方式	湿式 ・ 乾式 ・ 予作動式		自動警報装置	流水検知装置(流第 号)	圧力検知装置	個					
泡消火設備の方式	固定式(全域・局所) ・ 移動式		高発泡 ・ 低発泡	一斉開放弁	型式番号	開第 号	個				
泡消火薬 剤	種別	たん白泡 ・ 合成界面活性剤 ・ 水成膜泡			型式	泡第 号	貯蔵量	ℓ	希釈容量濃度	%	
	混合方式	差圧混合方式 ・ 管路混合方式 ・ 圧入混合方式 ・ ポンプ混合方式 ・ その他 ( )									
配 管	立上がり管口径	A	材質	JIS G ( )			専用 ・ 兼用 ( 設備)				
	弁類	止水弁 JIS G ( )			逆止弁 JIS G ( )						
送 水 口	双口型 箇所、設置場所 ( )										
電 源	常用電源	単相 ・ 三相 AC		V	電灯回路 ・ 動力回路						
		DC	V	AH	充電方式	トリクル ・ 浮動	使用別	専用 ・ 共用			
	非常電源	自家発電設備	単相 ・ 三相 AC ・ DC		V	KVA	使用別	専用 ・ 共用			
		蓄電池設備	DC	V	AH	充電方式	トリクル ・ 浮動	使用別	専用 ・ 共用		
	非常電源専用受電設備	単相 ・ 三相 AC		V							
配 線	常用電源回路	露出ケーブル・電線管露出・電線管理設・その他 ( )									
	非常電源回路	耐火電線・電線管露出・電線管理設・その他 ( )									
	警報回路	耐熱電線・電線管露出・電線管理設・その他 ( )									
	その他の回路	I V電線・露出ケーブル・電線管露出・電線管理設・その他 ( )									
その他											

備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。  
 2 選択肢の併記してある欄は、該当事項を○印で囲むこと。